

## 和漢の学問を支える神

芸術系准教授  
水野裕史

## 1. 神となった菅原道真と孔子

## (1) 菅原道真

日本の平安時代の学者であり、政治家。天神はその優れた学識と人格から、「学問の神様」として崇拝された。政治的な迫害により失脚し、死後に神格化された。

史料1 よししげのやすたね 慶滋保胤「菅丞相の廟を賽る願文」『本朝文粹』巻13 寛和2年(986)  
「其れ天神は文道の祖・詩境の主為るなり」

天神机・・・江戸時代の寺子屋で使用された机

天神講・・・道真の命日である2月25日におこなわれる。学問の向上を願う儀礼。天神の肖像が祀られた。

例：元文5年(1740)大阪の道明寺天満宮にて周辺の寺子屋の生徒が参詣した

※明治期ではあるが、道明寺天満宮の境内には孔子廟が建てられた

## (2) 孔子

孔子は古代中国の思想家であり、儒教の祖である。儒教は知識の追求のみならず、人間としての道徳的成長を重視するものである。日本では古代に儒教が伝来し、特に近世には各藩校で教育の一環として取り入れられ、孔子を象徴する絵画や彫刻、木主が祀られた。

疑問：孔子は「神」のように祀られたが、「神」として祀られたのか？

## 2. 開講式・入学式で掲げられた孔子

狩野典信「孔子像」(福岡県立修猷館高等学校)

史料2 『修猷館学規』安政5年(1858)1月8日  
福岡藩、修猷館開講式。教授、聖像ニ酒脯ヲ奠シ神酒ヲ二ノ瓶子ニ入、脯魚ヲ三方ニ列ヌ。拝香ヲハリテ論語一弟子入即章ヲ講ズ。執政参政其他諸役人出方アリ ※下線発表者

神酒ヲ二ノ瓶子ニ入・・・神酒を2つの瓶に入れる。→神を供える酒は、通常2本一組である。

## 3. 道明寺天満宮に祀られた孔子

・「孔子像」木造 像高29.5cm 16世紀 道明寺天満宮

高松藩藩校の講道館の聖像。17世紀前半に関東で活躍した仏師だいに そうけいの大貳宗慶の附属文書がある。高松藩士の岡井郡太夫が藩主に献上し、天保3年(1832)に高松藩主の松平頼恕が、聖廟を建造し、この聖像を安置し、積奠をおこなった。その後、明治6年(1873)2月に大阪の私塾泊園書院に伝わり、明治35年(1905)5月に道明寺天満宮の境内に聖廟が建設され、安置された。

## 参考文献

南坊城光興「泊園書院と道明寺天満宮釋奠会」『泊園書院と大正蘭亭会百周年』関西大学出版部、2015年

森公章『天神様の正体 菅原道真の生涯』吉川弘文館、2020年

小島毅「孔子を神として祭る―曲阜孔子廟の歴史」『文化交流研究』34、2021年